

ジアイナミックス注射液
の配合変化に関する資料

鶴原製薬株式会社
(H14年8月作成)

VB₁・VB₆・VB₁₂複合剤

●チアミンジスルフィド・VB₆・VB₁₂配合剤

〔成分〕	チアミンジスルフィド (TDS)	50.0 (mg/10mL)
	塩酸ピリドキシン (VB ₆)	100.0 (mg/10mL)
	酢酸ヒドロキソコバラミン (OH-VB ₁₂)	1.0 (mg/10mL)
	(ヒドロキソコバラミンとして)	

〔安定性〕 pH・希釈の影響：本剤の安定性は pH の依存性大であるが、リンゲル、5%ブドウ糖、ラクテック G、KN3A、-3B、フィジオゾール 3号、マルトス-10 などの輸液中において、室温 24 時間以内なら、TDS、VB₆、OH-VB₁₂ 含量は pH4.1~8.7 間において安定であると考えられている。

〔配合性〕 光およびアルカリ性の注射剤との混合には注意を要する。

〔用法〕 静(1管 10mL)を3分以上かけて)

ジアイナミックス注射液と他の注射剤との混合及び希釈液との配合の適否を検討した。

実験方法

次ページに示した割合で配合し、配合直後及び6時間後に外観・pHを測定し、また24時間後にも外観を観察した。

判定方法

配合6時間後に外観変化（肉眼による）、pHの変化を調べ判定した。

適：変化を認めない、配合可能

不適：混濁等を生じるために配合不可能

配合注意：色がわずかに変化するため配合注意とした。混濁等は生じない。

結果

二剤配合においては、ラシックス注との配合でpHが酸性側に変化するため主成分フロセミドが析出した。

また、水溶性プレドニン液で配合量の多い場合やソル・コーテフ、フェジンで配合直後に混濁が見られた。

また、抗生物質で配合量が多い場合、沈澱が見られた。

三剤配合においては、フェジンで混濁が、タチオン注射用で変色が認められた。

また、抗生物質類で24hr放置すると白濁が認められるものもあった。

なお、pH9以上のアルカリ性ではTDSが不安定であるのでアルカリ性注射剤との混合は注意が必要である。

参考

「注射剤の配合変化」、福嶋裕行・森潔共著（富士プリント出版）

二 剤 配 合 結 果

配 合 薬 メーカー名	配合量	配 合 薬 の p H	ジアイナミック ス注射液使用量	p H		配合変化	判定
				0hr	6hr 後		
グリセオール注 中外	200mL	3.80	10mL	3.76	3.80	室温 24hr 外観変化なし	適
5%ブドウ糖 大塚	100mL	5.00	〃	4.63	4.61	〃	適
20%マンニトール 「日研」 日研	500mL	6.75	〃	4.35	4.38	〃	適
ハイカリック液1号 テルモ	500mL	4.53	〃	4.50	4.50	〃	適
マルトース 10 大塚	500mL	4.64	〃	3.82	3.98	〃	適
アミノレバン 大塚	1mg 1mL	6.20	〃	6.00	6.05	〃	適
プロテアミン XT 田辺	500mL	4.65	〃	4.55	4.60	〃	適
ソリタ T3 号 清水一武田	200mL	5.03	〃	4.78	4.78	〃	適
ポタコール R 大塚	500mL	4.83	〃	4.66	4.76	〃	適
ラクテック注 大塚	500mL	6.38	〃	5.10	5.10	〃	適
KN 補液 3A 大塚	500mL	5.42	〃	4.95	5.05	〃	適
ポララミン注 5mg シェリングプラウ	5mg 1mL	4.73	〃	3.75	3.70	〃	適
ジギラノゲン C 注射液 藤沢	0.4mg 2mL	5.98	〃	3.48	3.45	〃	適
エホチール注射液 日本ベーリンガー	10mg 1mL	4.10	〃	3.78	3.70	〃	適
アミサリン注 第一製薬	200mg 2mL	4.49	〃	3.82	3.88	〃	適

二 剤 配 合 結 果

配 合 薬 メーカー名	配合量	配合薬 のpH	ジアイナミック ス注射液使用量	pH		配合変化	判定
				0hr	6hr 後		
FAD 注射液 10mg (ツルハラ) 鶴原	20mg 2mL	5.32	10mL	3.87	3.92	室温 24hr 外観変化なし	適
パルトックス S 注射液 鶴原	2mL	4.43	〃	3.80	3.85	〃	適
インデラル注射液 2mg 住友製薬	2mg 2ml	2.76	〃	3.42	3.34	〃	適
ラシックス注 アベンティス	20mg 2ml	8.52	〃	3.60	3.72	配合直後白沈	不適
ペルサンチン注射液 日本ベーリンガー	10mg 2mL	2.61	〃	3.10	3.10	室温 24hr 外観変化なし	適
MDS コーワ注 興和	300mg 10mL	7.55	〃	5.21	5.35	〃	適
注射用ルシドリール 大日本	250mg DW10mL	3.10	〃	3.53	3.50	〃	適
ニコリン H 注射液 武田	250mg 2mL	7.03	〃	4.42	4.40	〃	適
静注用テラプチク エーザイ	45mg 3mL	4.60	〃	3.50	3.52	〃	適
ビソルボン注射液 日本ベーリンガー	4mg 2mL	2.63	〃	3.36	3.40	〃	適
プリンペラン注射液 菱山-藤沢	10mg 2mL	3.40	〃	3.62	3.60	〃	適
水溶性プレドニン 塩野義	10mg 1mL 20mg 2mL	6.80	〃	4.00 4.18	4.12 4.10	室温 24hr 外観変化無し 配合直後混濁	不適
ソル・コーテフ 住友	100mg 2mL	7.60	〃	4.63	4.60	配合直後混濁	不適
水溶性ヒドロコルト ン注射液 万有	100mg 2mL	7.79	〃	5.80	5.92	室温 24hr 外観変化なし	適
ノルアドレナリン 三共	1mg 1mL	2.50	〃	3.38	3.35	〃	適
ケイツー エーザイ	30mg 3mL	5.47	〃	3.37	3.48	〃	適
カルチコール 8.5% 5mL 大日本	8.5% 5mL	6.28	〃	4.15	4.20	〃	適
フェジン 三菱ウェルファーマ	40mg 2mL	9.45	〃	4.15	4.20	配合直後混濁	不適

二 剤 配 合 結 果

配 合 薬 メーカー名	配合量	配合薬 の pH	ジアイナミック ス注射液使用量	p H		配合変化	判定
				0hr	6hr 後		
ブルタール 大日本=中外	40mg 10mL	6.68	10mL	4.31	4.30	室温 24hr 外観変化なし	適
トランサミン S 注 第一製薬	20mL	6.37	〃	4.68	4.92	〃	適
強力ネオミノファーゲ ン C ミノファーゲン	20mL	6.37	〃	4.68	4.70	〃	適
グルタチン 持田	500mg DW10mL	5.40	〃	4.65	3.97	〃	適
キロサイド注 日本新薬	20mg 1mL	8.00	〃	4.18	4.15	〃	適
リンコシン注射液 住友製薬	1mL 300mg 2mL	4.00	〃	3.74	3.77	〃	適
セファメジン 藤沢	250mg 溶解液 2mL	5.45	〃	4.05	4.10	〃	適
セフメタゾン静注用 1g 三共	1g DW10mL	5.48	〃	4.01	4.03	〃	適
ペントシリン注射用 2g 富山化学	2g DW10mL	6.01	〃	4.45	4.49	〃	適
ブレオ 日本化薬	15mg 1mL DW3mL	5.25	〃	3.60	3.65	〃	適
ダウノマイシン 明治製菓	20mg DW10mL	6.10	〃	3.78	3.75	〃	適
ビタメジン静注用 三共	1g 20mL	4.58	〃	4.02	4.00	〃	適
点滴静注用ミノマイシ ン ワイズレダリー	100mg DW5mL	2.08	〃	2.57	2.62	〃	適
アスパラ K 注射液 田辺	17.12% 10mL	7.33	〃	5.54	5.60	〃	適

三 剤 配 合 結 果

配合薬品名 メーカー名	配合量	ジアイナミ ックス注射 液配合量	輸液名	全量mL (約)	pH		配合変化	判定
					0hr	6hr 後		
ラシックス注 アベンティス	20mg 2mL	10mL	5%ブ ドウ糖	100	4.12	4.20	室温 24hr 外観変化なし	適
水溶性プレドニン 塩野義	20mg 2mL	〃	〃	〃	4.29	4.33	〃	適
フェジン 三菱ウェルファーマ	40mg 2mL	〃	〃	〃	4.05	4.10	配合直後混濁	不適
タチオン注射用 山之内	200mg	〃	〃	〃	4.34	4.38	6hr 変色して いた	不適